

# 鉄壁の 防除力。

独自の  
高濃度  
製剤



2つの有効成分により、卵から成虫、  
さらに次世代まで届く殺虫効果。

かんきつの  
無人航空機  
による散布  
適用拡大



 ミネクト® エクストラSC

syngenta®



シンジェンタ ジャパン株式会社

農薬をご使用の際には、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標

## 1 幅広い殺虫スペクトラムを有する2種類の有効成分

幅広い殺虫スペクトラムを持つシアントラニプロールに対し、ルフェヌロンを組み合わせることで特に吸汁性害虫におけるスペクトラムを補完し、同時防除性に貢献します。

## 2 害虫のあらゆる生育ステージに作用

2つの有効成分が害虫のあらゆる生育ステージに作用し、卵から成虫、さらに次世代まで害虫の密度を抑制します。

## 3 独自の高濃度フロアブル製剤

コンパクトで使いやすいボトルサイズです。なお、適用作物に対して葉害事例はなく、優れた作物安全性が確認されています。

## 4 天敵類に影響が少ない

カブリダニ類及びコウチュウ目天敵に対して、散布後の影響が少ないことが確認されています。



シンジェンタのミネクト製品シリーズは、幅広い殺虫活性と、長期にわたる残効性が特長です。水稲、野菜の生産者様の防除ニーズに応え、補完し合うベストな有効成分を最適化しました。

かんきつ、かんしょ、だいち、えだまめ  
**無人航空機**  
による散布が可能

### ■適用害虫の範囲及び使用方法

適用  
拡大

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	ルフェヌロンを含む農薬の総使用回数	
かんきつ (みかんを除く)	アザミウマ類 ヨモギエダシャク	10000倍	200~700ℓ /10a	収穫21日前 まで	1回	散布  無人航空機による 散布	3回以内	1回	
	ゴマダラカミキリ成虫	80倍	4ℓ/10a						
	ミカンサビダニ	160倍	8ℓ/10a						
	ミカンハモグリガ	200倍	10ℓ/10a						
	アゲハ類	80倍	4ℓ/10a						
	チャノキイロアザミウマ	160倍	8ℓ/10a						
みかん	アザミウマ類 ヨモギエダシャク	10000倍	200~700ℓ /10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布  無人航空機による 散布	3回以内	3回以内	
	ゴマダラカミキリ成虫	80倍	4ℓ/10a						
	ミカンサビダニ	160倍	8ℓ/10a						
	ミカンハモグリガ	200倍	10ℓ/10a						
	アゲハ類	80倍	4ℓ/10a						
	チャノキイロアザミウマ	160倍	8ℓ/10a						
なし	ハマキムシ類	10000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (は種前の処理は 1回以内、は種後の 処理は3回以内)	2回以内	
	りんご			モモンクイガ ハマキムシ類 キンモンホソガ					収穫14日前 まで
	ぶどう			チャノキイロアザミウマ					収穫前日まで
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	80倍	100~300ℓ /10a 1.6ℓ/10a	収穫14日前 まで	2回以内	無人航空機による 散布	4回以内 (は種前の処理は 1回以内、は種後の 処理は3回以内)	2回以内	
	だいち	マメシクイガ カメムシ類 ハスモンヨトウ	10000~ 12000倍	100~300ℓ /10a		収穫7日前 まで			散布
40~80倍			0.8ℓ/10a	無人航空機による 散布					
80~160倍			1.6ℓ/10a	散布					
えだまめ	マメシクイガ カメムシ類 ハスモンヨトウ	10000~ 12000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (は種前の処理は 1回以内、は種後の 処理は3回以内)	2回以内	
		40~80倍	0.8ℓ/10a			無人航空機による 散布			
		80~160倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による 散布			

### ■使用上の注意事項

#### 効果・葉害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布してください。
- 害虫抵抗性の発達を防ぐため過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用は、有効成分が分解するおそれがあるのでさけてください。これらの薬剤と混用する場合には、メーカーや販売店等に問い合わせるなどして、分解の有無を十分確認してから使用してください。やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する薬液にはかからないようにしてください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
  1. 散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
  2. 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  3. 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  4. 散布液が池、河川などに入らないように注意してください。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

#### 安全使用上の注意

- 農薬使用者に係る注意事項
  1. 散布液調整時及び散布の際は、保護眼鏡、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
  2. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ミツバチに係る注意事項
  1. ミツバチの巣箱及びその周辺に近づかないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  2. 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

#### 環境保護上の注意

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### 貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器、空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。

シンジェンタ ジャパン株式会社  
〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階  
www.syngenta.co.jp

